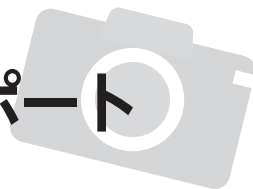


大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

※撮影の時だけ一時的にマスクを外していただいています。

まちかどレポート



共生社会への思いを込めて～パラリンピック聖火採火式・聖火ビジット開催

パラリンピック聖火採火式・聖火ビジットが8月13日、労働福祉会館で行われました。石炭に火をおこした炉に、障害のある子どもたちが書いたメッセージや絵を入れ、その火をランタンに採火しました。火は東京都に届けられ、東京2020パラリンピックの聖火となります。大雨の影響で職員のみでの式となりましたが、子どもたちの思いは、しっかりと東京へ届けられました。



親子で大牟田の空襲跡をめぐりました

市内に残る空襲遺跡をめぐり、平和について考える「親子でめぐる大牟田の空襲遺跡フィールドワーク」が7月25日に行われました。参加した親子は、大牟田の空襲を記録する会の案内のもと、市役所屋上にある防空監視哨や宮浦公園高射砲陣地跡、藤田町被爆戦没者之碑などをめぐり、戦争の悲惨さや平和の大切さを学びました。参加者からは「市内に多くの空襲跡があることに驚いた。もっと多くの人に知ってほしい」などの声が聞かれました。



市役所屋上にある防空監視哨



被爆で破壊した狛犬（藤田町）

ホストタウン・ジョージアとオンラインで交流



東京2020オリンピックのジョージアのホストタウンとなっている大牟田市・石川県志賀町・徳島県が、ジョージアへまちの魅力をPRする「オンライン・トリップ」が8月6日に行われました。大牟田市は宮原坑から中継し、JALのキャビンアテンダント・倉本真理子さんが市の世界遺産・文化財室担当職員らと一緒に大牟田をPRしました。

中継にはジャー坊も駆け付け、日本のキャラクター文化などを紹介しました。



押し花はがきづくり

夏休み期間中、地区公民館等で押し花はがきづくりのワークショップが行われました。子どもたちは、きれいな押し花を使って黙々と作品づくりに励んでいました。参加した子どもの中には「毎日つくりたい!」と話す子もいて、とても好評でした。



草花でたたき染め

7月31日、エコサクセンターで親子わくわく環境講座が開催され、草花を使ったたたき染め体験が行われました。子どもたちは草花の形や彩りを考えながら布に好きな草花を並べ、木づちを使って布を染めていました。



天の原校区の取り組みが環境大臣表彰

地域環境美化功績者環境大臣表彰で、令和2年度に受賞した笹原町三丁目公民館（栗原重行館長）と3年度に受賞した東萩尾団地公民館（荒木正雄館長）が7月19日に市役所を訪れ、関市長へ受賞報告しました。

2年連続で表彰を受けた天の原校区の皆さんは「地域みんなで取り組んでおり、表彰は活動の励みになります」と喜びを語りました。



子どもたちの安心安全のために

子どもたちの安心安全に役立ててほしいと、大牟田商工会議所女性会から、寄付金の贈呈がありました。これは女性会の創立10周年を記念して行われたものです。子どもたちが安心して暮らせるまちづくりに活用していきます。



防災対策のより一層の充実へ

公益社団法人大牟田法人会から、より一層防災対策を充実させてほしいと、防災情報システム活用のための専用機材等が寄贈されました。寄贈された機材は、8月の大雨で災害対策本部が設置された際に大いに活躍しました。